

院長ごあいさつ

令和元年6月1日で開院4年を迎えました。

おかげさまで開院間もないころに比べ最近を受診していただく患者数が増えています。当院は当初から予約制ではございませんので、長時間診察までお待たせしてしまっています。しかし私が脳神経外科のクリニックを開院した大きな理由として、大学病院勤務医時代に感じていた「不安で受診した患者さんが、その日のうちにその不安が解消されない（後日また改めての検査など）」「長時間待って数分診療」「同じ薬を1か月分処方した来月で」といったことは避けたいと思ったからです。そのために当院にはMRIを設置しており、当日予約なしに必要な方は検査しています。これによりこれまでさほど多くはないと報告されていた疾患（椎骨動脈解離）が、実は頭痛を訴え受診される方の中に少なからず認められることがわかりました（4年間で65名）。

従来から「椎骨動脈解離」は重篤な疾患であり急変する可能性が高いとされていますが、おそらく当院に歩いて受診されるような方は軽症のままで発見され、その後の安静加療を行うことで事なきを得ていることがほとんどです。この疾患以外にも様々な疾患が早期発見されます。当然脳神経外科領域の疾患ですからそのすべてが当院で治療（入院治療や手術など）まで完結できるものではありません。よって「厚木市立病院」や「東海大学医学部付属病院」、「とうめい厚木病院」などをお願いすることもあります。開院当初は当院で治療が完結できずただ単に病気を発見するだけではいかなものか、との葛藤がありました。これは長きにわたって大学病院に勤務し診断・治療（手術）を一連で行うことが体に染みついていたからだと思います。しかし考えてみるといかに病気を早期発見することが重要であるかがわかってきました。したがってこれからも受診された患者さんの中に重大な病気が潜んでないかを診ていきたいと思っています。そしていったん他院で治療がなされて落ち着いた患者さんは、その後の健康維持に関して当院でまた診させていただきたいとも考えています。

当院の診療理念は「患者さんの病気の不安を笑顔にかえる」ということです。そのためにもまずは私たちがみなさまを笑顔でお迎えしてまいります。そして受診されたみなさまが、その日のうちに当院に来てよかったと笑顔になれるよう努力していきます。これからもどうかよろしく願いいたします。

令和元年6月1日

つぐ脳神経外科・頭痛クリニック
院長 継 淳